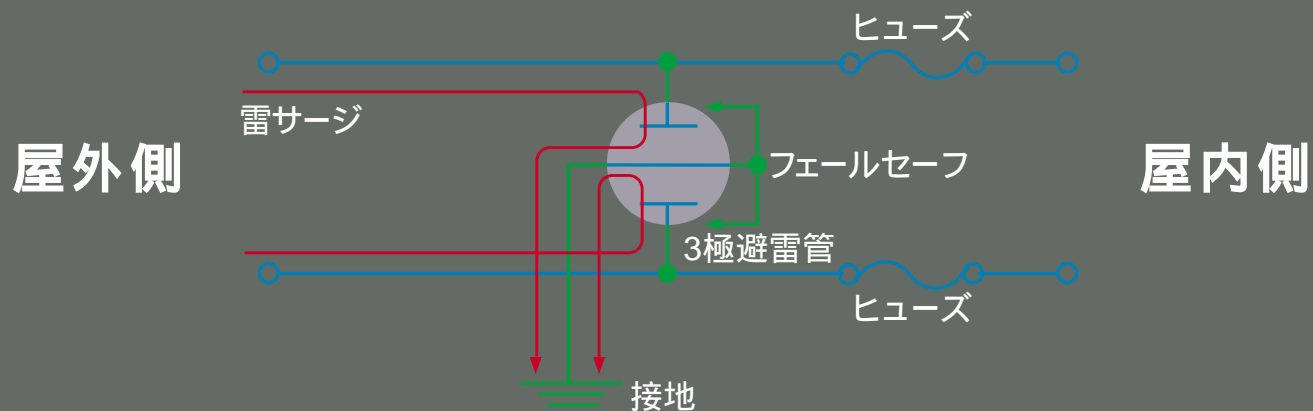


加入者保安器

Subscriber arrester

落雷や電力線と通信線の接触により、通信線には雷や商用電源電流が侵入することがある。避雷器やヒューズなどで構成される加入者保安器は、これらの電流による感電事故や火災などの発生を防止する目的で開発されており、雷サージ電流を避雷器により大地に逃し、侵入した商用電源電流をヒューズにより遮断している。



1928年 6月 ~	12号加入者保安器	最初に仕様化した保安器
1948年 5月 ~	試1号加入者保安器	小型化および屋内・屋外で使用可能
1957年 5月 ~	1号小形加入者保安器	小型化および屋内・屋外で使用可能
1965年 7月 ~	3号加入者保安器	腐食耐久性の向上
1973年 4月 ~	4号加入者保安器	3号加入者保安器の小形化
1983年 4月 ~	5号加入者保安器	アレスタ機能を炭素アレスタから3極避雷管に変更
1987年10月 ~	6号加入者保安器	ISDN回線用に開発。動作時間を短縮した3極避雷管を使用
1990年 2月 ~	6号 ^{遠隔切分機能付き} 加入者保安器	試験台から遠隔でネットワーク設備と宅内設備を切り分ける機能を内蔵